

令和元年9月10日

愛媛大学

令和2年度の学部・研究科改組（組織改編）が決定

このたび愛媛大学では、文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査等を経て、愛媛県で初の看護系博士後期課程となる大学院医学系研究科看護学専攻（博士後期課程）新設など、令和2年4月に学部・大学院の改組を下記のとおり行うこととなりました。

これらの改組は、社会的ニーズの高い人材を育成するため、各学部・研究科の強み・特色を重点化する観点から教育研究組織の見直しを行うものです。

つきましては、ぜひ取材くださいますよう、お願いいたします。

記

- ①大学院医学系研究科看護学専攻（博士後期課程）の設置【新設】
- ②大学院人文社会科学研究科（修士課程）の設置（法文学研究科の改組）
- ③大学院教育学研究科（修士課程及び教職大学院（専門職学位課程））の改組
- ④教育学部の改組

※令和2年度に改組を行う学部・研究科（①～④）の概要は別紙のとおりです。

※送付資料6枚（本紙を含む）

本件に関する問い合わせ先
総務部経営企画課 河野・大本
Tel : 089-927-9012 ・ 8292
Email : mokuhyo@stu.ehime-u.ac.jp

愛媛大学における 令和2年度学部・研究科改組の概要

① 大学院医学系研究科看護学専攻（博士後期課程）の設置【新設】

<令和元年9月6日付けで設置が認められました>

改組の概要

※ 新設（また、博士後期課程の設置に伴い、従来の修士課程を博士前期課程に名称変更するとともに、入学定員を16名から12名に変更）。

入学定員等

入学定員2名。博士前期課程からの進学者や、既に修士の学位をもった現職看護職等の入学を想定。

養成する人材と修了後の進路等

愛媛県唯一の看護系博士後期課程として、地域完結型の保健・医療・介護である地域包括ケアに関わる看護職のリーダーを養成。修了後は、地域の医療・福祉機関、保健行政機関、教育機関などでの活躍を期待。

(参考) 入試日程等

募集要項の公表 令和元年11月中旬

募集受付期間 令和元年12月18日(水)～令和2年1月6日(月)

試験実施日 令和2年2月1日(土)

※ 試験科目等、詳しくは、愛媛大学WEBサイトをご覧ください。

② 大学院人文社会科学研究所（修士課程）の設置（法文学研究科の改組）

＜令和元年8月28日付けで文部科学省が設置報告書（届出）受理＞

改組の概要

愛媛地域の文系の拠点大学院である法文学研究科（綜合法政策専攻，人文科学専攻）を再編し，人文社会科学研究所（法文学専攻，産業システム創成専攻）に改組。

入学定員等

入学定員20名（法文学専攻12名，産業システム創成専攻8名）。

本学法文学部や社会共創学部からの進学のほか，他大学，社会人からの入学を想定。

法文学専攻が養成する人材と修了後の進路等

今後の地域社会の変化を見据えた政策提案や新たな文化的価値の創造を行える人材を養成。修了後は，自治体等での政策の企画立案や地域文化の振興等のほか，法専門職等としての活躍を期待。

産業システム創成専攻が養成する人材と修了後の進路等

地元企業等と連携したプロジェクト研究や実践研究等により，経済・経営に関わる課題解決能力を身に付けた人材を養成。修了後は，高度なマネジメント力を有するビジネスリーダー，地域課題を解決する公務員，団体職員等としての活躍を期待。

（参考）入試日程

募集要項の公表 令和元年9月9日（月）

研究科説明会 令和元年10月13日（日）

募集受付期間 [一次募集] 令和元年10月11日（金）～10月18日（金）

[二次募集] 令和2年 1月 6日（月）～ 1月10日（金）

試験実施日 [一次募集] 令和元年11月17日（日）

[二次募集] 令和2年 2月11日（火）

※ 試験科目等，詳しくは，愛媛大学WEBサイトをご覧ください。

③ 大学院教育学研究科（修士課程及び教職大学院（専門職学位課程））の改組

<令和元年7月5日付けで文部科学省が設置報告書（届出）受理>

改組の概要

教科教育専攻及び特別支援教育専攻（ともに修士課程）を教職大学院に移行し、教職大学院の入学定員を拡充（15→40名）するとともに、現職教員を対象とする1年修了プログラムを新設。また、学校臨床心理専攻を再編し、臨床心理士、公認心理師の両受験資格に対応した心理発達臨床専攻に改組。

入学定員等

入学定員は、教育実践高度化専攻（教職大学院）40名、心理発達臨床専攻10名。
教育実践高度化専攻は、学部卒業者・臨時的任用者のほか、現職教員の入学を想定。
心理発達臨床専攻は、心理学系・教育学系学部卒業者のほか、社会人や現職教員の入学を想定。

教育実践高度化専攻（教職大学院）が養成する人材と修了後の進路等

地域の教育改革を主導する学校管理職候補人材や、多様で複雑な教育課題に対応できる即戦力人材・ミドルリーダー人材など、スクールリーダー及びより高度な専門性と実践的能力を備えた教員を養成。

心理発達臨床専攻が養成する人材と修了後の進路等

従来は臨床心理士に加え、国家資格である公認心理師の養成に対応。本大学院入学前に公認心理師に対応した学部で必要な単位を取得した者が、本大学院で所定の単位を取得した場合に公認心理師の受験資格が与えられる（厚生労働省へ申請中）。心の健康の保持・増進に貢献できる高度専門職業人を養成。修了後は、学校教育の現場を中心に、医療、福祉、司法・矯正、産業・労働の現場で心理臨床の専門スタッフ（スクールカウンセラー等）としての活躍を期待。

(参考) 入試日程

9月募集の出願受付は終了しました。

教育実践高度化専攻は、次のとおり11月募集を行います。

募集受付期間 令和元年10月11日（金）～10月18日（金）

試験実施日 令和元年11月23日（土）

心理発達臨床専攻は、2次募集を行う見込みです。（詳細は後日公表します。）

※ 試験科目等、詳しくは、愛媛大学WEBサイトをご覧ください。

④ 教育学部の改組

<令和2年度概算要求事項として組織改編>

改組の概要

学校教育教員養成課程と特別支援教育教員養成課程を、新たな学校教育教員養成課程として一本化。一課程化により、複数学校種の免許取得ニーズに柔軟に対応。

(少子化に伴う学校の統廃合や小規模化が進む愛媛県の教員養成ニーズに応じたもの)

入学定員

入学定員は160名(従来の2課程の入学定員合計と同数)。

※ 試験科目等, 詳しくは, 愛媛大学WEBサイトをご覧ください。

令和2年度に実施する学部・研究科の改組について

大学院の教育組織【現行】

→ 大学院の教育組織【改組後（2020年4月1日）】

研究科名	修士課程 (博士前期課程)	入学 定員	博士課程 (博士後期課程)	入学 定員	研究科名	修士課程 (博士前期課程)	入学 定員	博士課程 (博士後期課程)	入学 定員
法学研究科	総合法政策専攻	15	—	—	人文社会科学 研究科	法学専攻	12	—	—
	人文科学専攻	10	—	—		産業システム創成専攻	8	—	—
教育学研究科	教育実践高度化専攻*	15	—	—	教育学研究科	教育実践高度化専攻*	40	—	—
	教科教育専攻	20	—	—		心理発達臨床専攻	10	—	—
	特別支援教育専攻	11	—	—		同左	—	—	—
	学校臨床心理専攻	9	—	—	同左	—	—	—	
理工学研究科	生産環境工学専攻	62	生産環境工学専攻	6	同左	—	—	—	—
	物質生命工学専攻	61	物質生命工学専攻	5		—	—	—	—
	電子情報工学専攻	59	電子情報工学専攻	4		—	—	—	—
	数理物質科学専攻	40	数理物質科学専攻	4		—	—	—	—
	環境機能科学専攻	28	環境機能科学専攻	4		—	—	—	—
医学系研究科	—	—	医学専攻	30	医学系研究科	—	—	医学専攻	30
	看護学専攻	16	—	—		看護学専攻	12	看護学専攻	2
農学研究科	食料生産学専攻	26	—	—	同左	—	—	—	—
	生命機能学専攻	23	—	—		—	—	—	—
	生物環境学専攻	23	—	—		—	—	—	—
連合農学研究科	—	—	生物資源生産学専攻	9	同左	—	—	—	—
	—	—	生物資源利用学専攻	4		—	—	—	—
	—	—	生物環境保全学専攻	4		—	—	—	—
合計	—	418	—	70	合計	—	404	—	72

* 教育実践高度化専攻は、専門職学位課程

【愛媛大学 第3期中期目標（抜粋）】

ミッションの再定義を踏まえ、各学部・研究科の強み・特色の重点化の観点から教育研究組織を見直し、社会的要請の高い人材を育成する。

① 医学系研究科看護学専攻 (博士課程)

博士後期課程の設置
(愛媛県唯一の看護系の博士課程)

医学系研究科看護学専攻
修士課程
(入学定員16名)

2020年改組
医学系研究科看護学専攻

博士前期課程 (入学定員12名)	【修士(看護)】
博士後期課程 (入学定員2名)	【博士(看護)】

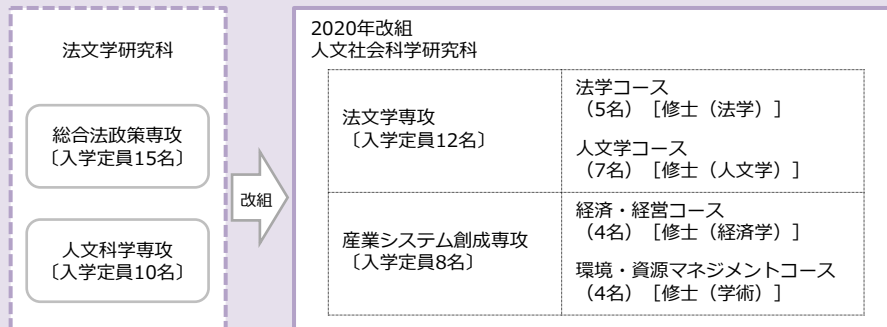
改組の特色

地域力を活かした保健ガバナンスを創造できるリーダーの輩出

地域包括ケアシステム開発に必要な高度な専門知識を持ち、地域の保健・医療・福祉の全体を俯瞰し、地域や個人が抱える健康課題を科学的に分析・評価し、地域力を活かしながら解決へと導く人材を育成

② 人文社会科学研究科 (修士課程)

法文学部（H28改組）と社会共創学部（H28新設）の
学士課程教育を踏まえた、2専攻の設置



改組の特色

地域社会のニーズに応える教育

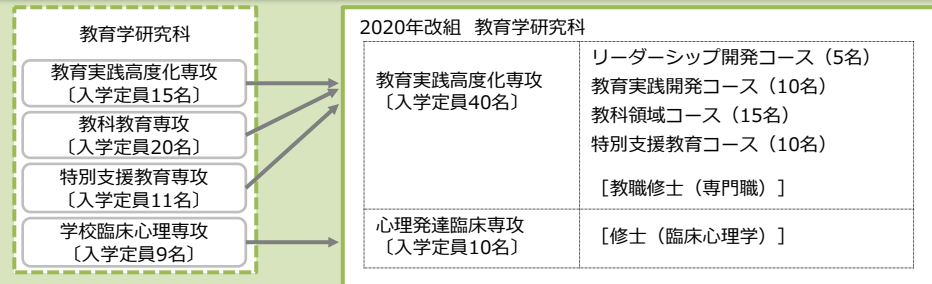
今後の地域社会の変化を見据えた政策提案や新たな文化的価値の創造を行うことができる人材を育成

産業界と連携した教育

地元企業等と連携したプロジェクト研究や実践研究などによって、経済・経営に関わる課題解決能力を身につけた人材を育成

③ 教育学研究科 (専門職学位課程、修士課程)

教科教育専攻及び特別支援教育専攻を教職大学院へ移行
(教職大学院の拡充)
学校臨床心理専攻を改編し、公認心理師養成に対応



改組の特色

学校現場に対応した多様な教育プログラム

- 多様で複雑な教育課題に対応できる人材を育成
- 高度な教材解釈力と授業力をもつ人材を育成
- 特別支援教育に関する高度な専門性をもつ人材を育成

公認心理師の受験資格に対応

学校教育の現場を中心に、医療などの様々な産業現場で活躍できる人材を育成

④ 教育学部

2課程を1課程へ改編し、複数学校種の免許取得へのニーズに対応

